ふくい

市議会だより

No.243
R8 秋



編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手３丁目10番１号
令和８年11月25日

9月定例会

（8月31日～9月25日）

審議事項：議案25件、報告11件、請願1件
委員会審査、一般質問、予算特別委員会

表紙写真：彼岸花（一乗谷朝倉氏遺跡唐門前）

福井市議会で学ぶ！

福井のみらいのつくりかた





福井市内の中学生12名を対象に、市議会を身近に、楽しく学べる体験講座を開催しました!!

福井市では、主権者教育の一環として、公募による市内の中学生12名を対象に、令和8年8月10日に主権者教育事業を実施しましたので報告します。

第1部 クイズで学ぶ！「議会のしくみ」

議会の役割や仕組み、議員の仕事などについて、○×ゲームを交えながら学習しました。

議員から地方議会が直面する様々な課題や、福井市議会の現状などの説明を行いました。議員自らが実際の議会活動における経験を交えながら解説することで、議会について学ぶ貴重な機会となりました。

また、参加者は説明やクイズに積極的に取組み、楽しみながらも、真剣な姿勢で学習に参加してくれました。



第2部 みんなで考える「テーマ別グループトーク」



議会の仕組みや議員の役割を学習したあとに、3つのグループに分かれて身近なテーマについて議員とともに話し合いました。

グループ①【福井駅前に「行きたくなる場所」を創るには】

「中高生の放課後の居場所づくり」をテーマにアイデアを出し合ったり、議員のサポートのもと公共交通機関の利活用策などについても、議論を深めました。

グループ②【SNSの使い方の条例（福井市のルール）を考えてみよう】

身近に起こったSNSにまつわるトラブルや課題を整理したり、いじめや健康への影響など様々な問題をどう解決するかを議員と議論を交わしました。



グループ③【新しい福井の名産品を考えてみよう】

「どのような名産品を、誰に向けて、どのようにPR・販売していくか」をテーマにプロモーションプランを作成しました。議員からの助言を受けて、福井の名産品の認知度向上策など、理解を深めることができました。

第3部 第4部

議員になりきって「私たちの意見を届けよう！」議場見学&閉講式

「駅前に屋内のスポーツ施設を作ってはどうか」「駅前へのアクセス向上のため、バスの運行本数を増やして欲しい」「SNSに起因する犯罪やトラブルから身を守るため、利用時間に関するルールを設けてはどうか」「大人も一緒にルールを守ってもらおう。親がルールを守れば子どもも守るはずだ！」「福井のお米を新しい名産品としてもっと推していきたい！有名な人に試食してもらったり、農業体験を企画してはどうか？」など、中学生ならではの視点で福井市をよりよくするための提案が多くありました。



参加者による発表終了後、主権者教育検討部会の堀川部会長から修了証の授与を行いました。

また、事業の締めくくりとして議場の見学を行いました。参加者は普段入ることができない議場に足を踏み入れ、議場特有の厳粛な雰囲気や緊張感を肌で感じ、市議会をより身近に学ぶ機会となりました。

参加議員の感想 「主権者教育に取り組んでみて」



福井市議会では、これまでに議会の仕組みなどについて記載したリーフレットを作成し、各中学校に配布するなど主権者教育の取組を進めてきました。

更なる取組を進めるため、8人の議員で構成する主権者教育検討部会を設置し、教育委員会などと連携しながら企画内容についての協議を重ね、中学生を対象とした企画を実施しました。体験後のインタビューでは「有意義で貴重な体験が出来た」などの感想を伺うことができました。

今回の体験が、参加した生徒たちにとって主権者意識を育む一助となり、今後の学びや将来の社会参加につながることを期待しています。

熊本市議会に熊本地震に対する義援金をお渡ししました

令和8年7月28日に発生した熊本地震では、姉妹都市である熊本市に大きな被害をもたらしました。

これを受け、8月14日に野嶋議長が熊本市を訪問し、被災現場の視察や、福井市からの応援職員の激励を行った後、福井市議会議員一同からの義援金を熊本市議会の田中誠一議長と井本正広副議長にお渡ししました。

田中議長からは感謝の言葉とともに、現在、市民が元の生活に戻ることができるよう、被災者の支援に全力で対応していることを伺いました。

これに対し野嶋議長からは、「熊本市の一日も早い復旧、復興を願っており、福井市議会としても、できることがあれば全力で協力したい」との申し出をいたしました。



左:田中熊本市議会議長　右:野嶋福井市議会議長

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名	◎委員長　○副委員長
予算	◎八田　一以　○堀川　秀樹　奥島　光晴　堀江　廣海　藤田　諭 田中　義乃　近藤　實　菅生　敬一　池上　優徳　寺島　恭也 山田　文葉　酒井　良樹　榊原　光賀　漆﨑　與　髙田　稔浩	
	調査項目　各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件	
決算	◎見谷　喜代三　○伊藤　洋一　皆川　信正　村田　耕一　近藤　實 池上　優徳　津田　かおり　山田　文葉　漆﨑　與　髙田　稔浩	
	調査項目　各会計決算等の審査	

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

9月定例会

令和8年度補正予算

9月補正予算は、高齢者の防犯対策、災害時における乳幼児・妊産婦の避難に対する支援、現在実施中の中学校の大規模改修において、後年度の手戻り等を防ぐために行う体育館への空調設備整備、水産業支援など、各種施策を推進するための取組のほか、電気料高騰の対策として社会福祉施設等への支援、さらには、学校給食の調理業務委託に係る債務負担行為の設定について計上いたしました。

また、令和8年8月大雨で被災された方々の生活再建と地域の復旧・復興を最優先に、一日も早く必要な支援を届けるため、平成16年7月福井豪雨と同程度の支援を行うこととし、災害見舞金の拡充をはじめ、厳しい経営環境に置かれている農業者への支援、さらには農地や農業施設、道路・河川等の災害復旧に要する経費について、所要の予算措置を講じます。

補正予算の規模は、一般会計で、18億27万7千円、特別会計で、1，574万1千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で、1，407億603万5千円、特別会計で、810億6，374万1千円、全会計では、2，617億8，677万6千円となります。

※補正予算の概要については、市財政課のホームページを御覧ください。

【主要事業】

Ⅰ各種施策を推進するための取組

【福祉】
- 詐欺被害ゼロへ！高齢者の防犯機能付き電話機購入支援事業
- 乳幼児・妊産婦あんしん避難サポート事業
- 自立支援医療システム改修事業

【教育】
- 中学校体育館空調設備整備事業

【水産業】
- 定置漁業振興支援事業
- スマート水産業導入支援事業

【まちづくり】
- 市街地再開発事業等支援事業
- 県都まちなか再生事業

【その他】
- 人事給与・庶務事務システム改修事業
- 旧すかっとランド九頭竜解体準備事業
- 公営競技納付金

Ⅱ物価等高騰への対応に関する事業
- 軽費・養護老人ホーム職員処遇改善支援事業
- 障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 介護サービス事業所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業
- 地域公共交通緊急支援事業

Ⅲ債務負担行為の設定
- 学校給食調理業務委託事業（森田・森田東小学校）

Ⅳ令和8年8月大雨への対応に関する事業

【被災された方々の生活再建支援】
- 災害見舞金
- 災害援護資金貸付金
- 住宅応急修理事業
- 営農継続緊急支援事業

【社会福祉施設の災害復旧支援】
- 障がい福祉施設災害復旧費補助金
- 介護施設災害復旧費補助金
- 私立認定こども園災害復旧費補助金

【農業・林業施設等の災害復旧】
- 農地・農業施設災害復旧事業
- 林道施設災害復旧事業
- 林道災害応急復旧支援事業
- 山地災害復旧事業
- 排水機場管理運営費

【都市基盤の災害復旧】
- 道路災害復旧事業
- 河川災害復旧事業
- 公園災害復旧事業

【社会教育施設等の災害復旧】
- みどり図書館災害復旧事業
- 公立学校施設災害復旧事業
- 一乗谷朝倉氏遺跡災害復旧事業

条例

○福井市体育施設条例及び福井市都市公園条例の一部改正について

福井市東公園グラウンド及び福井市アーチェリー練習場を廃止するものです。

人事案件

○教育委員会委員

令和8年9月30日をもって任期満了となる粟原知子氏を引き続き同委員に任命することに同意しました。

○公平委員会委員

令和8年9月30日をもって任期満了となる金井亨氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

○人権擁護委員

本年12月31日をもって任期満了となる委員6名のうち、栗波昭文氏、今冨廣子氏、河合恭江氏、川﨑清美氏を引き続いて、佐々木英江氏、藤嶋恵氏を新たに、同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。（委員会終了順に掲載）

未来につなげる地域交通対策特別委員会

《公共交通の現状》

問 廃線になった路線の地域では、交通手段の確保に苦慮していると思うが、こうした地域の今後のケアについてはどう考えているのか。

答 今までに交通空白地であったところが、今後、地域ごとにオンデマンド化し、カバーできる部分もあるが、特定の路線を復便していくところまでバス運転士数が回復していないため、まずはバス運転士確保に向けた対策を行っていく。

要望 通勤の時間帯には運転士の確保が困難であると推察されるが、今後、路線の改定や時間帯の見直しなどの際にはしっかりとケアできるよう、地域や利用する方たちの声を大事にしてほしい。

問 人手不足を解消するには外国人材の活用も必要と考えるが、現状はどのようであるのか。また、バス運転士不足の対応として、オンデマンド交通への統合を進めていくとのことだが、その運転士は確保できているのか。

答 外国人材の活用については、県が昨年度から検討を進めており、今年度、10人余りの外国人の活用を目指していると聞いている。本市としては、県と連携するとともに、動向を注視し、必要な対策の参考にしていきたいと考えている。

また、オンデマンド化導入における人材については、現状の運転士数で対応が可能である。

要望 運転士不足は全国的な課題であることに加え、公共交通を維持していくためには、行政の支援は必要である。今後は、本市の各種支援制度に、奨励金や激励金による、事業者のモチベーションが高まるような取組を検討するよう要望する。

《シェアサイクル（ふくチャリ）の現状と課題》

問 歩道の幅員が狭く自動車の通行量も多いため自転車が走りにくい道もあることから、ふくチャリの利用を進めていくためには、道路の整備も必要になると思うが、どのように考えているのか。また、将来的にヘルメット着用が義務化された場合、どのような対応を行うのか。

答 自転車通行空間の整備については、車道や歩道の幅員を変更するなどの必要があるが、まずは車道に矢羽根型の路面標示を引くことなどを検討していきたい。

また、ふくチャリのヘルメットについては、まちなか案内所や福井市観光交流センターをはじめ、有人施設の5か所で貸出しを行っている。無人ポートでのヘルメットの貸出しを行っている他市の事例においては、紛失や衛生面での課題もあることから、今後、他市の事例を研究しながら、ヘルメットの貸出し環境について、拡充もしくは利便性の向上を図っていきたい。

要望 福井ではまだ観光でのふくチャリ利用者は少なく、一乗谷朝倉氏遺跡までのように長距離でも大変便利なことから、利用の啓発を進めてほしい。加えて、利用者の増加につながることから、移動手段として必要としている方が、どのようなエリアで利用しているかなどについても調査してほしい。

建設委員会

《福井市交通安全対策会議設置条例の一部改正について》

問 福井市交通安全計画に代わり福井市交通安全指針が作成されるとのことだが、本市がこれまで実施してきた交通安全対策の施策のうち縮小するものはあるのか、また具体的に変更となる点はあるのか。

答 交通安全対策基本法の規定緩和を受け、各交通安全関係団体や警察署等と協議し、交通安全活動の方向性を示す福井市交通安全指針を作

※各委員会の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各委員会の動画を御覧いただけます。

成することとなった。指針では、従来の計画にあったような数値目標はなくなり、上位計画である県の交通安全計画に定められた数値目標を参考としていくことになる。「道路交通事故のない社会を目指す」という基本理念は従来と変わっておらず、この理念のもと、各交通安全関係団体が、県や市の交通事故の動向や特徴を踏まえつつ、共通の方向性のもとで交通安全活動を実施していくための指針を示すものであり、決して交通安全対策を縮小するものではない。

要望 今年に入り自転車の通行に関するルールや生活道路における自動車の最高速度規制など、交通安全を取り巻く環境が大きく変化している。このため、そういったことも踏まえた上で、これまで以上に交通安全の推進に力を注いでほしい。

意見 地域の自治会や団体から、道路にラインを引く、また警察の所管である一時停止等の標識を立てるなどの道路に関する要望があった場合、要望を受けた道路課は、警察と協議しながら対応を行うこととなる。今回の条例改正は自転車利用推進課が行っているが、部局はどこであっても構わないので、条例の改正、県と市の連絡協議などの交通安全に関することは、現実の問題として、本来は一つの部署が担うことが適当ではないか。

総務委員会

《財産の無償貸付けについて（福井アリーナ（仮称）用地）》

問 アリーナ建設の先行きが見えない中、事業用地となる土地の無償貸付け契約を進めることに疑問を感じている。業者の選定すら行われていない中で、本市としては、工事着工に係る株式会社福井アリーナからの正式な報告があるまでは、計画されているスケジュールどおり進むとの認識でいるとのことだが、市民の不安は非常に大きい。市としても説明責任がある立場として、期間を区切って、進捗などの見通しを示さなければならないと思うが、どのように考えているのか。

答 現時点では株式会社福井アリーナから正式な報告を受けておらず、具体的な時期を示すことはできないが、報告があり次第、今後の見通しなどを含めた情報について速やかに公表したいと考えている。

問 今後、東公園の整備や周辺道路の整備が本格的に始まると、税金を使って事業を進めることになる。税金を投入する以上、先行きが不透明な状態で先行して事業を進めるのではなく、一度立ち止まって様子を見ることも必要ではないか。完成までのスケジュールを見極めながら事業を進めていくべきと考えるが、どのように考えているのか。

答 本市としては、今回の委員からの意見を福井商工会議所とも共有し、できるだけ早くスケジュールが示されるよう働きかけていく。その上で、今、市としてやるべきことについては、遅滞なく進めていく。

要望 アリーナについては様々な意見や不安があるが、まずは、無償貸付けを決定し、建設地を明確にするとともに、周辺整備も含め、行政はここまで進めているという姿勢を積極的に示すことで、福井商工会議所や株式会社福井アリーナに対し、早急に結論を出すように促していくべきである。また、決定すべき事項は三者でしっかりと決定すべきであることから、不安ばかりを議論するのではなく、どんどん決定していくことで、行政と民間が同じ方向に向かって進めていってほしい。

経済企業委員会

《福井市体育施設条例及び福井市都市公園条例の一部改正について》

問 東公園内にある市のアーチェリー練習場を廃止するとのことだが、この練習場を利用されている方はどのくらいいるのか。また、これまで利用されていた方は、今後どこで活動するのか。

答 市のアーチェリー練習場の利用状況は年間582名、利用期間中月平均72名であり、当分の間は、県立アーチェリーセンターを代替施設としてご利用いただきながら、移転先を探していきたい。

問 県立アーチェリー場ではすでに利用されている方がいると思うが、これまで市のアーチェリー練習場で練習していた方がそこへ行っても、確実に練習できるのか。

答 すでに県スポーツ課、市アーチェリー協会と協議し、県立アーチェリーセンターで練習や活動することについては、お互いの了承を得ている。

教育民生委員会

《工事請負契約の締結について（足羽中学校外壁・防水改修工事）》

問 8月29日から30日にかけての記録的な豪雨の際、足羽中学校で雨漏りは発生したのか。

答 校舎や体育館での雨漏りは見られなかったが、廊下で雨漏りが1箇所発生した。

問 足羽中学校以外の学校での、雨漏りの発生はあったのか。また、その後の修繕等の対応は行ったのか。

答 27校で雨漏りが発生した。雨漏りの発生は児童及び生徒の学習環境に影響を及ぼすものであることから、連絡を受け次第、すべての雨漏りに対して修繕の対応を行っている。

※各委員会の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各委員会の動画を御覧いただけます。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、9月7日から9日までの3日間、21人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、(　)内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

① 見谷　喜代三（一真会）

1 今回の豪雨の状況の把握と今後の取組について
2 福井市における公共工事への最新技術導入について

② 皆川　信正（一真会）

1 大雨に対する雨水施設の効果について
2 アリーナ構想について
3 本市の技術継承、適正人員配置について
4 水循環システムWOTAについて

③ 堀川　秀樹（市民クラブ）

1 福井市小学校体育館空調設備工事について
2 産後ケア事業について
3 日常生活用具給付等事業について

④ 奥島　光晴（新政会）

1 教育（知育・徳育・体育）について
2 「結婚生活スタートアップ応援事業」の制度検証と若い世代に選ばれる福井市について
3 名勝 養浩館庭園について

⑤ 髙田　稔浩（市民クラブ）

1 ＪＲ福井駅周辺・恐竜エリアの分煙対策について
2 精神障がい者相談員の設置について
3 福井市障がい者日常生活用具給付事業の見直しについて

⑥ 下畑　健二（公明党）

1 福井アリーナ（仮称）の整備について
2 災害時の被災者支援について
3 市営墓地について
4 地球温暖化対策について

⑦ 八田　一以（一真会）

1 福井市地域公共交通計画について

⑧ 酒井　良樹（市民クラブ）

1 災害応援派遣職員の勤務条件と処遇について
2 市職員の熱中症対策について
3 子どもの遊び場について

⑨ 藤田　諭（新政会）

1 アリーナ構想について
2 防災対策による災害に強いまちづくりについて

⑩ 山田　文葉（日本共産党）

1 中学校給食、教材費の無償化について
2 アイバンクについて
3 物価高騰の今、アリーナ支援より賃上げ支援について
4 農業支援について

⑪ 漆崎　與（一真会）

1 福井鉄道福武線の活性化について

⑫ 鈴木　正樹（日本共産党）

1 災害対策について
2 禁煙外来への市の助成について
3 公共交通対策について

⑬ 菅生　敬一（公明党）

1 行政ＤＸの推進による業務改善について

⑭ 田中　義乃（新政会）

1 食品の消費税減税が飲食業界に与える影響について
2 養浩館庭園と大名庭園サミットについて

⑮ 岩佐　武彦（無所属）

1 市民から親しまれるスポーツ施設や公園整備について
2 若者の感性を生かした施策の創出について
3 学校教育環境を取り巻く課題について
4 スケートボードの練習場所について

⑯ 佐野　弘（一真会）

1 持続可能な農業に向けて
2 学校体育館の空調について
3 公民館の整備について

⑰ 寺島　恭也（一真会）

1 道路冠水、川の増水、土砂災害について

⑱ 村田　耕一（市民クラブ）

1 本市の産官学連携等について
2 本市の災害時等の体制について
3 本市のまちの活性化に関する取組について

⑲ 近藤　實（無所属）

1 8月30日の豪雨災害への対応について
2 財政調整基金の積立について（西行市長）
3 財政調整基金の積立について（浅野代表監査委員）
4 アリーナ建設の建設費見通しと資金調達状況について
5 埋蔵文化財発掘調査費（15,700万円）とアリーナ財源確保予算（15,780万円）への疑念
6 アリーナ財源確保予算（15,780万円）のうち、競輪事業の冠レースによる1億円について
7 アリーナ構想が成功する条件：50億円を経済界が新たに資金拠出すること
8 アリーナ建設用地の無償貸付について
9 アリーナ建設に係る事業協定について
10 政党機関紙の庁舎内勧誘について
11 新クリーンセンターの余熱利用によるアグリパーク整備支援事業について
12 入湯税（目的税）の歳入は適切に支出すべき、さもなくば廃止すべき

⑳ 津田　かおり（公明党）

1 災害対策について
2 これからの自治会運営について
3 部活動の地域移行における環境整備について
4 ＲＳウイルス感染症対策について

㉑ 浦上　逸人（一真会）

1 福井市民意識調査の結果について
2 中心市街地について
3 福祉について
4 防災・安全安心について

一般質問要旨

今回の豪雨の状況の把握と今後の取組について



みたに　きよぞう
見谷 喜代三 議員
一真会

質問

これまでも大雨の度に浸水や道路冠水などが発生している地域があるものと認識しているが、これらの地域について、市では過去の被害状況の蓄積をどのように分析し、過去の教訓を今回の大雨にどう生かすことができたのか伺う。

回答

平成16年7月の福井豪雨以降、国や県と連携し、河川改修や河床掘削をはじめ、浸水常襲地区においては、雨水調整池や貯留施設の整備、ポンプ場などの排水施設の整備及び増強など、総合的な対策を進めてきた。また、過去の浸水実績や災害対応の経験を踏まえた水防体制の強化を図り、職員招集の迅速化や道路の通行止めなど、運用の見直しも行ってきた。こうした継続的な治水安全性の向上に加え、本市の取組は以前に増して向上したものと認識している。

そのような中で、今回これまで経験したことのない降雨状況となったが、市街地において浸水したところは、これまで進めてきた浸水対策の効果が発揮できたものと考えている。



みながわ　のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

アリーナ構想について

質問

7月29日、整備費の増加、完成の遅れについてNHKで報じられた。これについて市長は「正式な報告は受けていない」と説明していたが、報道があったにも関わらず、市長にも説明がないということを、市はどのように受け止めているのか。

回答

報道を受け、速やかに株式会社福井アリーナ及び福井商工会議所に確認したところ、報道内容は両者が公式に発表したものではなく、報道機関の独自取材による臆測と推察しているとの文書を頂いた。また、現在は実施設計中であり、金額やスケジュール等について鋭意精査しており、内容がまとまり次第、正式に報告したいとの回答を受けている。

現在、整備会社において、実施設計の進捗や物価上昇等の影響も踏まえながら精査が進められており、現時点では正式な報告は受けていない。整備会社から正式な報告を受けた際には、その内容を十分に確認した上で、議会に対しても速やかに説明していく。



ほりかわ　ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

産後ケアについて

質問

産後ケア事業は近年飛躍的に充実したが、利用者は約3割にすぎず、その原因は申請や予約する際の煩雑な手続きにある。

そこで、市職員の負担軽減にもつながる検索・予約サービス「テオテ」を導入するべきと考えるが、市の所見は。

回答

産後ケアの検索・予約システムについては、導入自治体の利用状況や効果、費用などを調査するとともに、まずは、オンライン申請など、早期に実施できる手続の改善を検討していく。

また、母子保健分野全体のデジタル化を進める国の取組との整合性や費用対効果を踏まえながら、医師会や助産師会などの関係機関と連携し、本市に適した方法を検討していく。



おくしま　みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

教育（知育・徳育・体育）について

質問

本県本市の小学6年生と中学3年生の学力・体力はトップクラスである。即ち、知育・体育は成果を出していると思う。徳育については、1958年に教育課程に道徳の時間が設けられたが、その成果と課題、展望について伺う。

回答

道徳教育の充実が、児童生徒の、集団や社会のきまりを守り、自分で正しい行動を選ぼうとする気持ちや態度の育成に一定の成果を上げているものと認識している。課題としては、児童生徒が当事者意識をもって、自分の意見を述べ合うことができる授業づくりが十分とは言えないことが挙げられる。今後も、教員の指導力向上に向けた研修を行い、「考え、議論する道徳」の一層の充実を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てていく。



たかだ　としひろ
髙田 稔浩 議員
市民クラブ

福井市障がい者日常生活用具給付事業の見直しについて

質問

物価の変動に適切に対応するため、国の『骨太の方針』に遅れることなく、日常生活用具の基準額の引き上げと、耐用年数の実態に即した見直しに向けて、動き出してはと考えるが、市の所見は。

回答

日常生活用具の基準額や耐用年数は、市町村が地域の実情に応じて設定することとされているが、対象種目が多岐にわたることに加え、製品の多様化や障がいの状況によって必要となる用具や使用量が異なることから、その見直しには慎重な検討が必要である。一方で、多くの種目において長期間見直しが行われていないことや、近年の物価高騰による製品価格の上昇が利用者負担に影響を及ぼしていることなどから、その妥当性については、しっかりと見極めていく必要があると考えている。

今後は、利用者負担の状況や用具の利用実態、実勢価格や他自治体の動向などを踏まえながら、基準額及び耐用年数の妥当性を定期的に検証し、制度の適切な運用に努めていく。



しもばた　けんじ
下畑 健二 議員
公明党

福井アリーナ（仮称）の整備について

質問

アリーナ建設に向けて、夏頃からプロポーザル方式で業者選定公募をされる予定だが、その進捗はどうなっているのか？もし実施されていなければ工期が遅れると本市は認識するのか伺う。

また現在どのような状況と聞いているのか伺う。

回答

夏頃から開始予定としていた公募については現時点で実施に至っていないが、事業全体の工期に遅れが生じる状況にはないものと認識している。また、整備会社が金融機関から借入れを行う際には、土地の権限関係を明確にする必要があることから、本市としては予定どおり土地の無償貸付に係る議案を9月定例会に提案したところである。

整備会社からは、実施設計を進めており、事業費やスケジュール、業者選定に係る公募日程、全体工期などについて精査していると聞いている。



はった　いちい
八田 一以 議員
一真会

福井市地域公共交通計画について

質問

令和8年11月に、中藤島・東藤島・円山・岡保地区で実施される、オンデマンド交通実証事業（＝予約型乗合交通＝ハイヤーを予約するイメージ）について、各地区に周知徹底をお願いしたい。そして、速やかに本格運行に移行してほしい。

回答

多くの地域住民に利用していただくため、対象の自治会で利用ガイドブックを全戸配布するとともに、住民向け説明会を開催し、事業概要や利用方法について丁寧に説明していく。また、高齢者も利用しやすいよう、電話予約に対応するほか、説明会ではWEB予約の方法についても、操作実演を交え、説明を行う。

本格運行に当たっては、実証事業の利用状況や運行効果等の検証、地域住民や交通事業者との協議、必要な手続を進めた上で、令和10年度からの運行開始を目指していく。



さかい　よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

子どもの遊び場について

質問

あそびにおいでよ！地域子育て支援センター・児童館のイベント内容及び実施状況、公園施設の遊具の更新状況は。夏休みに空調設備が整備された小学校体育館を遊び場として開放してはどうか。

回答

児童館では、4館をモデル館として大学生や企業と連携し、「こどもあそび企画」や「工作イベント」を実施している。また、地域子育て支援センターでは、市内全12施設で「みんなのおもちゃ総選挙」を実施し、約400人の子どもや保護者から投票をいただいた。

公園遊具については、令和3年度から7年度までの5年間で93か所の公園において107基を更新した。今後も、遊具の危険度や利用状況を踏まえながら、計画的な更新・修繕を進めていく。

空調設備を備えた小学校体育館の開放については、安全対策や見守り体制の確保などの課題があるものの、子どもの居場所の選択肢の一つとして捉え、関係部局と連携しながら活用のあり方を検討していく。



ふじた　さとし
藤田 諭 議員
新政会

防災対策による災害に強いまちづくりについて

質問

8月30日の記録的大雨を踏まえ、実際の浸水被害と既存の浸水想定区域図・内水ハザードマップとのずれを検証し、必要な見直しを行う考えはあるのか。住民が自らの危険度を理解し、早期避難につなげるため、どのように分かりやすく周知するのか。

回答

現在の下水道内水ハザードマップは、事前の備えとして役立てるため、令和4年3月に、雨水出水浸水想定区域図は、浸水が想定される区域や浸水の深さを公表し、被害の軽減を図るために7年3月に作成したものである。これらの整備状況に合わせて浸水区域や浸水深が減少する箇所についての情報の更新を考えている。

市民への情報配信としては、福井市防災気象情報メール、Yahoo!防災速報アプリ、福井市公式LINEなどの各種SNSで情報配信を行っており、これらの防災情報の入手方法については、今後も市政出前講座や防災フェアなどあらゆる機会を通じて周知を図っていく。



やまだ　ふみは
山田 文葉 議員
日本共産党

中学校給食も無償に

質問

今年4月から小学校給食が無償となり大変喜ばれている。一方、中学校では給食費が必要。県内で坂井市やあわら市、勝山市など9自治体で中学校給食まで無償となっている。義務教育は無償が原則。教育の一環である給食は、福井市でも中学校まで無償にすべき。

回答

学校給食は教育の一環であることから、自治体間で給食費に違いが生じることは好ましくないため、全国一律的に実施されることが必要と考える。このため、中学校給食費無償化についても、令和9年度重要要望において、国・県に対して早期実現を要望したところである。

今後も国の動向を注視するとともに、国に対して中学校給食費無償化が早期に実現するよう引き続き要望していく。



うるしさき　あたえ
漆崎 與 議員
一真会

福井鉄道福武線の活性化について

質問

市長は福武線を将来にわたり維持・発展させるべき基幹公共交通と認識しているか。また、市民生活や地域経済、将来のまちづくりを支える社会資本という観点から福武線の公共的価値をどう評価し、次の世代へ継承していくため、どのように取り組んでいく考えか。

回答

福井鉄道福武線は、本市と鯖江市、越前市を結び、沿線住民の日常生活を支える移動手段として、長年にわたり重要な役割を担っている。本市においても、南部地域と福井駅を結ぶ公共交通幹線軸であると認識しており、北陸新幹線福井開業以降は、観光客の二次交通としての役割にも期待が高まっている。

本市としては、福武線を沿線地域の発展を支える社会資本として、これからも次世代へ継承するため、交通事業者や沿線自治体、地域住民等と広域的に連携した取組を進めていく。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。



すずき　しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

禁煙外来への助成を

質問

市の調査で、子育て世代のお父さんの喫煙率は3割超、お母さんも6%、妊娠中のお母さんも1・2%吸っているとされる。本人だけでなく家族や周囲の方、その子どもへと悪影響を及ぼす喫煙を防止するため、市として禁煙外来への助成を行うべきではないか？

回答

禁煙外来治療費への助成制度は、禁煙を後押しする効果が期待されるものの、治療を受け禁煙に至らなかった方への取扱いや、禁煙成功者のみを対象とした場合にも、禁煙継続の確認や再喫煙した場合の取扱いなど、制度設計や運用面での課題がある。

また、継続的な財政負担が生じることから、糖尿病や腎臓病など他の疾病予防事業との優先順位や費用対効果などについても、十分に検討する必要がある。

このため、現時点において、新たな助成制度を創設する考えはないが、今後も、より効果的な禁煙支援のあり方について、研究していく。



すごう　けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

自治体広報のアプリ化について

質問

情報を一元的に提供する「福井市版の情報アプリ」を構築することについて、市としてどのように考えているのか。また、福井市の今後の広報戦略について市長の考えを伺う。

回答

「福井市版の情報アプリ」については、利用者が最も多く、幅広い世代で利用されているLINEを積極的に活用している。LINEは重要で緊急性のある情報をスマートフォンに直接届けるプッシュ型の配信が可能であるほか、利用者が関心のある分野を事前に設定することで、それぞれのニーズにあった情報に特化して受け取れることもでき、まずは市民一人一人が求める情報をより確実・迅速にお届けできるLINEの特徴を最大限に生かし、本市の主たる情報ツールとして発信の強化・拡充に努めていく。

また、今後の広報戦略については、広報ふくい、SNS等のほか、市長記者会見など、様々な媒体が持つ強みを掛け合わせながら、より多くの市民の皆様の目に触れる機会を生み出し、市民一人一人に伝わる広報を進めていく。



たなか　よしのり
田中 義乃 議員
新政会

食品の消費税減税が飲食業界に与える影響について

質問

来年4月から飲食料品の消費税率を8%から1%に引き下げる方針が閣議決定された。物価高に苦しむ家計には大きな支援となるが、外食産業には経営悪化といった新たな課題をもたらす可能性がある。この事態をどう捉え、どのような支援策を打ち出していくのか。

回答

日本経済新聞社がまとめた2025年度、飲食業調査によると、食品の減税が業績にマイナス影響を与えるとみる企業が約7割に上っていることから、一定程度の影響があるものと考えられる。

本市としては、飲食店や外食産業が地域経済や雇用を支える重要な産業であると認識しており、まずは国の動向を注視しつつ、市内事業者や関係団体から情報収集を行い、実情把握に努めることが重要であると考えている。

その上で、今後、地域経済や飲食店事業者への影響に対しては、経営相談や市制度融資などを活用するとともに、国、県及び関係団体と連携し、市内事業者の事業継続と、経営基盤の維持に努めていく。



いわさ　たけひこ
岩佐 武彦 議員
無所属

若者の感性を生かした施策について

質問

若者の特徴である「感性・発想力・行動力」を生かし、本市の若手職員が勤務時間の20%を担当業務以外のプロジェクトに自由に参加できる制度がある。この制度の活用により、実施・検討されている施策はどのようなものがあるのか。

回答

福井市ナッジ・ユニットでは、例えば、大腸がん検診を促す市民へのお知らせはがきについて、内容や表現を工夫した3種類のはがきを作成、送付して比較検討した結果、受診率が最大で3・4%向上したという成果を上げている。

服いネ！プロジェクトでは、現在の本市の作業服について、「動きづらい」「ダサい」といった声を受け、職員等へのアンケートやデザイン及びカラー投票を経て、見直しを行い、令和9年度以降の職員の作業服が、順次新たなデザインへと移行する。

自動運転技術を活用した新たな移動サービスの社会実装を推進するための調査・研究プロジェクトでは、今年度は秋のレベル2の実証運行に向け、関係機関との協議・調整や市民への理解促進などに取り組み、令和9年度におけるレベル4の認可取得を目指している。



さの　ひろし
佐野 弘 議員
一真会

公民館の整備と利用について

質問

高齢化が進む中、公民館の老朽化やバリアフリー化への対応が求められている。また、子どもたちや若者の身近な居場所として、Wi-Fi環境や利用方法の改善も必要と考える。誰もが安心して利用しやすい公民館の整備と運用方針を伺う。

回答

公民館は、社会教育や地域コミュニティ活動の拠点であり、災害時には避難所となるなど、市民にとって重要な役割を担っている。一方で、建築年数が40年以上経過している公民館が11館、また大ホールが2階にあり、バリアフリー等に対応できていない公民館が14館ある。高齢者や障がいのある方をはじめ、誰もが安全で安心して利用できる施設とするため、施設の老朽化、バリアフリーの状況、防災面の課題などを総合的に勘案し優先順位を定め、計画的に改修・更新を進めていく。

また、子どもの居場所づくりとして、今年度から試験的に公民館の無料開放に取り組んでおり、課題や運用方法について整理し、各公民館の施設状況や地域の実情を踏まえながら進めていく。

なお、既存のWi-Fi設備が構造上、一部利用できない場所があることは把握しており、今後、よりよい環境整備に努めていく。



てらしま　きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

道路冠水・川の増水・土砂災害について

質問

河川の合流区域以外においても、「福井市下水道内水ハザードマップ」のように、低い水位の記載があれば、早くから準備が出来る。自動車等の水没を免れる水位が記載されたハザードマップは避難準備に有効利用出来ると思うが、所見を伺う。

回答

本市では、大雨による浸水被害に備え、長時間降り続く大雨により河川が増水し、堤防の決壊などで水があふれた場合の浸水深の目安を示す「洪水・土砂災害ハザードマップ」と下水道や水路で雨水を排水しきれず、地表に水があふれた場合の浸水深をきめ細かく示す「下水道内水ハザードマップ」を作成している。

一方で、合流区域外においても浸水深をよりきめ細かく示した「内水ハザードマップ」の作成には、地域の細かな地形や水路・排水ポンプの能力などを踏まえた調査と解析が必要であり、相応の時間を要するという課題もある。

今後は、他都市の取組状況などを参考に、過去の浸水実績の精査も含め、浸水リスクに関する分かりやすい情報提供の在り方についても研究していく。



むらた　こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

本市の産官学連携等について

質問

高度化する地域課題に対応するためにも、ソフト面・ハード面における産官学の連携は重要である。

産官学連携による実用化や産業化の支援に関する本市の取組やその成果、今後の方針や課題について伺う。

回答

本市では、市内中小企業者が大学等との研究成果を活用して新製品や新技術などの開発に取り組む場合に、試作品の製作や性能試験、展示会への出展などを支援する事業を行っており、今年度はAIを活用した新製品の開発を支援している。

産官学連携の課題としては、参加主体によって目的や期待する成果が異なるため、継続的な連携・協力関係の構築が難しいことなどが挙げられる。産業振興や地域課題の解決などを進める上で、産官学連携の重要性は今後さらに高まるものと考えており、引き続き、企業、大学等との意見交換や情報共有を図りながら、産官学連携による共創の取組を推進していく。



こんどう　みのる
近藤 實 議員
無所属

政党機関紙の庁舎内勧誘について

質問

職員168名から寄せられた意見は、「絶対に禁止すべき。現状このようなことを許していることがおかしい」「自分の思想・政治的信条に相容れない機関紙を購読するのは考えられない屈辱」など。政党機関紙の勧誘・配布・集金は速やかに禁止すべき。いかがか。

回答

生命保険や不動産などの勧誘行為については、これまでも庁舎管理規則に基づく許可手続を行っていることから、政党機関紙の勧誘等についても、それらと同様の行為であると判断し、本年3月から許可の対象とした。今回のアンケートを受けて、職員が心理的圧力を感じているという実態が明らかになったため、意見のあった政党には、職員が圧力を感じることなく勤務できる環境の形成について、御理解と御協力を頂くよう依頼している。当面、その対応への結果を見極めていきたいと考えている。



つだ
津田 かおり 議員
公明党

災害対策について

質問

災害時、個別避難計画に基づき要配慮者と支援者が一緒に避難する際、ケガなどした場合に、市としての保障を考えているか。

今後の豪雨災害に備え、被災地区を生じさせないためポンプの増設など排水能力の強化を図るべきと考えるが、本市の所見を伺う。

回答

支援者の役割については、責任が問われるものではないこと等を踏まえた上で、できる範囲での支援であることを周知・説明している。保障については検討していく。

今回の大雨のように、県管理河川などの水位が上昇し、そこへ流入する支川や水路からの自然排水が困難となる場合には、ポンプによる排水が有効であると認識している。国や県に対してこれまで以上に河川改修や排水ポンプの設置、増強を強く要望していく。また、関係機関と連携し、必要に応じて追加の排水ポンプ車を配備するなど応急排水も行う。



うらがみ　はやと
浦上 逸人 議員
一真会

「こどもホスピス」について

質問

小児がんや難病などの重い疾患のあるこどもやその家族を支える「こどもホスピス」への支援に取組むべきではないか。「こどもホスピス」について、地域福祉計画に盛り込むべきではないか。また、常設施設の設立などの支援に取り組むべきではないか。

回答

こどもホスピスについては、まずは、本市として果たすべき役割や支援の在り方、具体的な取組の方向性について十分検討した上で、必要な施策を進めることとなった場合には、どの行政計画の中で位置付けることが適切であるかについて検討していく。

また、常設施設の開設に向けて、土地や建物に関する相談に対し、団体が希望される条件を伺いながら、施設整備に関する情報提供や助言を行っている。広域的な取組が重要であることから、県が実施している支援事業の状況を注視しながら、団体からの相談に丁寧に対応していく。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。

予算特別委員会

各会派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

堀江 廣海　八田 一以
池上 優徳　寺島 恭也
榊原 光賀　漆崎 與

9月17日

9月18日

○農家に対する支援について

問 政府が期間限定で飲食料品の消費税率を現行の8％から1％に引き下げることにより、農家の手取りが減る可能性があり、米価下落、生産資材の価格高騰、今回の大雨災害と合わせ、四つの苦しみが重なる懸念がある。農家の自助努力で対応し切れない深刻な課題に対し、米づくりの将来に希望を抱き、前向きな気持ちで営農が続けられるよう、市としての支援策を検討するべきと考える。また、令和8年度産1等米コシヒカリの概算金60キログラム当たり1万7千円に対し、玄米60キログラム当たりのコスト指標は2万535円であり、概算金の額を大きく下回っている。このような事態に対して、他の事業を取り止めてでも取り組むべきではないか。

答 農業を取り巻く環境は年々厳しさを増しているものと認識している。特に今年は、米の概算金の下落により、販売収入の大幅な減少が見込まれ、また、8月末の記録的な大雨により、市内の多くの農地で浸水や冠水が発生しており、農作物被害に見舞われた農業者は、相当苦労している。本市では現在の農業情勢を踏まえ、農業者に来年以降も営農を継続できるよう、今回の大雨被害の追加補正予算編成に当たり、緊急的な本市独自の支援を行い、迅速に実施していきたいと考えている。今後も、市独自の支援策を適切に実施することで、農業者が意欲を持って営農に取り組むことができる環境づくりに努めるとともに、本市農業の持続的な発展につながる計画的な施策を着実に推進していく。

要望 改めて農家への赤字補填や消費者への購入補助の実施をお願いしたい。

市民クラブ

堀川 秀樹　酒井 良樹
髙田 稔浩

9月17日

9月18日

○社地区の浸水被害について

問 長時間の記録的な大雨により狐川の水位が高い状態が続き、社雨水幹線の水位が上昇し溢水したことに加え、道路側溝等からの排水ができなかったことが浸水の主な原因とのことであるが、この問題を解決するには、県と連携し、ポンプアップにより狐川から日野川へ排水する仕組みをしっかり整備する必要があると考える。次の大雨に備え、速やかな改善を求めるべきではないのか。

答 本市としても、県が管理する狐川排水機場のポンプ能力を増強し、狐川及び社雨水幹線の水位を低下させることが、浸水被害の軽減に向けて重要であると考えている。

問 道路冠水時に、通行車両によって大きな波が発生し、その水が住宅や店舗へ流入する被害も報告されていることから、市と協定を結ぶなどして、自治会の判断で道路を通行止めにすることは可能か。

答 市道については、大雨により道路冠水が発生した際に、車両の立ち往生や通行車両による家屋等への浸水被害を防止するため、自治会の判断で道路を通行止めにできるよう、本市と自治会との間で覚書を締結し、通行止め用のバリケードを貸し出す制度を設けている。現在14自治会と覚書を締結しており、新たに覚書締結の要望があれば道路課へ相談してほしい。

新政会

奥島 光晴　藤田 諭
田中 義乃

9月17日

9月18日

○都市の整備について

問 この30年間で、新幹線開業に向けて、本市は、連続立体交差事業や駅周辺整備事業、区画整理事業、市街地再開発事業など、これまでに莫大な公費を投入し、またさらに投入することにより、都市としての整備が大きく進んだと考える。そこで、中心市街地の開発及び活性化が、本市全体にとって必要不可欠なものであるのか、そのビジョンを示すことはできないのか。

答 基本的な考え方として、中心市街地へ来訪者や民間投資を呼び込むことで、人や投資が生まれる好循環を生み出す。その効果を観光や交流、消費活動などを通じて市

内各地域へ波及させ、本市の持続的な発展につなげていく。

問 今の本市は一流の都市と言えるのか。福井市は一流の田舎から三流の都市を目指していると揶揄する人がいるが、このことに対しどのように考えるか。

答 現在の市中心部の骨格は、戦前から都市計画を土台として、戦災や震災など幾多の被害を乗り越えながら都市基盤の整備を進め形成されてきた。

本市が進める都心部の整備は、地方都市の個性を失わせ、大都市の模倣を目指すものではなく、田舎らしさを備えた都市を目指すことでもない。一見他の都市と類似するように見えても、本市が長年培ってきた都市としての歴史や文化、まちへの誇りや愛着といった福井らしさが感じられるような都市を目指すものである。このことを次世代へしっかりと引継ぎ、その効果が市全体に広がるような仕掛けを展開していきたい。

公明党

菅生 敬一

9月17日

9月18日

○みどり図書館について

問 電子図書館は、利用登録を行った地域住民等が、24時間いつでもスマートフォンやパソコンで電子書籍を借りられるサービスであり、図書館が近くにない地域の住民でも手軽に利用できるものである。また、今回のような災害により休館せざるを得ない状況においても利用することが可能であることから、本市でも、電子図書館の導入について前向きに検討してはどうか。

答 電子図書館は、時間や場所を問わず、読書活動及び学習機会を提供することができ、非来館型の手段を増やすことで市民の利便性向上が図られ、読書人口の増加にも寄与するものと認識している。全国的にも導入が進んでおり、いつでも、どこでも、だれでもが読書に親しむことができるバリアフリーなサービスであることから、今回のような災害の際にも、市民に対して読書活動及び学習機会を提供することが可能となる。そのため、本市においても、県や他都市の状況も踏まえながら、電子図書館の導入について検討していく。

日本共産党

山田 文葉

9月17日

9月18日

○中小企業や小規模事業者への賃上げ支援について

問 最低賃金の引上げは、個人所得の増加、ひいては市の税収の増加にもつながるものである。そこで、設備投資の実施に関係なく、北九州市や茨木市のように賃上げした事業所等に対し奨励金を支援する制度を本市でもつくれば、賃上げできる中小企業が増え、一人一人の労働者の賃金も上がり、税収も増えるのではないか。

答 市内の中小企業、小規模事業者が継続的な賃上げを実施していくためには、将来にわたって企業の稼ぐ力を高めていくことが重要と考える。このため賃上げ原資の一部に充てる資金を給付する手法ではなく、生産性向上や経営力強化に向けた取組を支援している。また、金融相談員による経営改善に係る資金繰り等に関する相談や、市の制度融資を活用してもらうことで、地域の雇用や産業を支える、中小企業に寄り添った支援に取り組んでいく。

無所属

近藤 實

9月17日

9月18日

○ふくいプレミアム商品券について

問 執行残額が発生した場合、その残額分は国庫に返還されることになるが、昨年12月と今年6月の補正予算で措置された二つのプレミアム商品券に係る執行残額についての見通しは、現在どのようになっているのか。また、今からでも早急に3億円から4億円の新たな物価高騰対策を検討すべきではないか。

答 現在実施中のふくいプレミアム商品券の執行残額については、利用期間の途中であるため、具体的な金額は見込めない。一方で、今後実施されるふくいプレミアム商品券第2弾では、1セット当たりの商品券の額面及び世帯当たりの購入セット数を引き上げており、販売数及び利用率の向上が見込まれる。そのため、まずは、ふくいプレミアム商品券を、できる限り多くの世帯に購入し利用していただけるよう、広報ふくいや市ホームページ、SNSなどを通じ利用促進に努めていく。



※会派の議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、各会派の動画を御覧いただけます。

（9月定例会） 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案（●印の賛否状況は15頁に掲載）
第81号議案	令和８年度福井市一般会計補正予算	９月25日	原案可決	●
第82号議案	令和８年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	
第83号議案	福井市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	〃	〃	
第84号議案	福井市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	〃	〃	
第85号議案	福井市体育施設条例及び福井市都市公園条例の一部改正について	〃	〃	●
第86号議案	福井市交通安全対策会議設置条例の一部改正について	〃	〃	
第87号議案	工事請負契約の締結について（足羽山公園管理棟更新工事）	〃	〃	
第88号議案	工事請負契約の締結について（明里団地３・４号館解体工事）	〃	〃	
第89号議案	工事請負契約の締結について（足羽中学校外壁・防水改修工事）	〃	〃	
第90号議案	工事請負契約の締結について（社中学校外壁、防水改修工事）	〃	〃	
第91号議案	工事請負契約の締結について（酒生公民館長寿命化改修・増築工事）	〃	〃	
第92号議案	工事請負契約の変更について（森田中学校給食室等増築・長寿命化改修工事）	〃	〃	
第93号議案	財産の取得について（市庁舎本館等市有施設ＬＥＤ照明器具一式）	〃	〃	
第94号議案	財産の取得について（消防団員用防火衣一式）	〃	〃	
第95号議案	財産の無償貸付けについて（福井アリーナ（仮称）用地）	〃	〃	●
第96号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第97号議案	財産の取得について（森田東小学校給食室用厨房機器一式）	〃	〃	
第98号議案	令和８年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	
第99号議案	令和７年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	—	継続審査	
第100号議案	令和７年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	〃	
第101号議案	令和７年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	—	〃	
第102号議案	令和７年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	〃	
第103号議案	令和７年度福井市集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	—	〃	
第104号議案	教育委員会委員の任命について	９月25日	同意	
第105号議案	公平委員会委員の選任について	〃	〃	
第22号報告	債権放棄の報告について	８月31日	受理	
第23号報告	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	〃	〃	
第24号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	〃	〃	
第25号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	〃	〃	
第26号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	〃	〃	
第27号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和７年度決算に関する報告について	〃	〃	
第28号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和７年度決算に関する報告について	〃	〃	
第29号報告	公益財団法人福井市観光協会の令和８年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第30号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和７年度決算に関する報告について	〃	〃	

（9月定例会） 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案（●印の賛否状況は下部に掲載）
第31号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の令和８年度事業計画等に関する報告について	８月31日	受理	
第32号報告	令和７年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	９月25日	〃	
請願第12号	「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める」意見書提出に関する請願	〃	不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成　反…反対

※原則、議長（野嶋祐記）は採決に加わりません。

会派名 / 議員名 / 議案番号	審議結果	一真会													市民クラブ						新政会				公明党			日本共産党		無所属	
		見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榊原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆﨑 與	佐野 弘	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	高田 稔浩	宮岡 勝也	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦
９月定例会																															
第81号議案	原案可決	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第85号議案	原案可決	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛
第95号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛
請願第12号	不採択	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛

議長の動静（令和８年７月～９月）

７月１日	全国市議会議長会　理事会（東京都）
９日	日本海六県港湾都市議会協議会　総会（石川県）
13日	市重要要望活動（大阪府）
14日	福井県市町総合事務組合議会 臨時会 福井坂井地区広域市町村圏事務組合　議会運営懇話会（あわら市）
27日	福井外環状道路要望活動（東京都）
30日	市重要要望活動（東京都）
８月５日	北陸新幹線建設促進大会（東京都）
６日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会（あわら市）
７日	福井県市議会議長会 定期総会
14日	熊本市訪問（熊本県）
19日	北信越市議会議長会 理事会（長野県）

定例会外の議会日程（令和８年７月～９月）

８月４日	議会運営委員会
21日	未来につなげる地域交通対策特別委員会
24日	議員全員協議会、議会運営委員会

９月定例会

８月31日	本会議
９月１日	議会運営委員会
７日	本会議（一般質問）
８日	本会議（一般質問）
９日	本会議（一般質問）
10日	総務委員会 建設委員会
11日	教育民生委員会 経済企業委員会
17日	予算特別委員会
18日	予算特別委員会
24日	議会運営委員会
25日	議員全員協議会 本会議





第73回 福井フェニックスまつり「民踊大会」に参加しました

福井の夏の祭典である福井フェニックスまつりの民踊大会に、11名の議員が参加しました。約1,200名の踊り手の方々と「イッチョライ節」などを踊り、熱気あふれる会場で、市民の皆様と一体感に包まれる素晴らしい時間を過ごすことができました。また、皆様の弾ける笑顔と福井を愛するエネルギーを肌で感じることができました。

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前から（先着順）	97名（うち車椅子6名）
常任委員会（総務、建設、教育民生、経済企業）	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
未来につなげる地域交通対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、年4回（3・6・9・12月）開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ
議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

9月定例会の一般質問では、8月29日から30日にかけて発生した大雨への対応など災害に関する質問や提案が多く挙がりました。災害時には、市職員では把握する余裕のない、現場の課題や市民のご意見を把握し、その解決にあたるのも議会の大切な役割です。

市民の皆様の安全な暮らしを守るためにも、議会はこれからも防災・減災対策の充実に全力を尽くしてまいります。

（編集委員　浦上、漆﨑）

次回は12月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのコミュニティチャンネル92chで生中継及び録画放送されます。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会ホームページ

本紙に関するお問い合わせ
議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでのお問い合わせフォーム